

# 第 11 回活動報告会のご案内



一般社団法人 ESG 情報開示研究会は、第 11 回活動報告会をオンラインで実施します。今回の活動報告会では、「グローバル（主に欧州）と日本の企業情報開示に関わる最新動向と日本企業の向き合い方」をテーマとして、基調講演とパネルディスカッションを実施します。また当研究会の第 6 期（2025 年 6 月～2026 年 5 月）上半期の活動報告をするとともに、作成者、投資家の方を招いてパネルディスカッションを行います。

**2026 年 2 月 17 日 15:00-16:40**

**会場：オンライン Zoom のウェビナー機能を利用します**

**ウェビナーID: 830 5930 5904**

**パスコード：215572**

**<https://us02web.zoom.us/j/83059305904?pwd=X4PBXFvplFVK8XOB4ocfsDpg4yXuq9.1>**

## プログラム

1	<b>オープニング及び EDSG 活動報告 (15:00～15:10)</b>
	登壇者 増田 典生 一般社団法人 ESG 情報開示研究会 共同代表理事、株式会社日立製作所 グループサステナビリティ本部 主管
2	<b>基調講演 1 (15:10～15:30)</b> <b>「サステナビリティ情報・人的資本開示に向けた制度導入の動向」</b>
	登壇者：倉持 亘一郎様 金融庁 国際会計調整室長
3	<b>基調講演 2 (15:30～15:50)</b> <b>「EU 先行事例の分析と日系企業への示唆」</b>
	登壇者：馬場 翔太様 EY ベルギー JBS (Japan Business Services)
4	<b>パネルディスカッション (15:50～16:35)</b> <b>「本格化するサステナビリティ情報開示と企業価値算定」</b>
	登壇者 EY ベルギー 馬場 翔太様 味の素株式会社 伊沢 千春様 インベスコ・アセット・マネジメント株式会社 古布 薫様 ファシリテーター 当研究会代表理事 北川 哲雄
4	<b>総括 (16:35～16:40)</b>
	登壇者 北川 哲雄 一般社団法人 ESG 情報開示研究会 代表理事・研究会座長、青山学院大学 名誉教授、東京都立大学 特任教授

## ご注意事項

- 本イベントの録画、録音、撮影は固くお断りさせていただきます。これらの違反が発覚した場合、法的処置を取らせていただく場合がございます。

- 本イベントはオンライン会議サービス「Zoom」を利用します。
- 本イベントのご参加にはインターネットの接続が必要です。事前に Zoom の利用環境準備や、お使いのコンピュータ設定やネットワーク環境をご確認ください。  
設定や環境により、正しく視聴できない場合があります。
- 通信トラブル等の技術的な問題について、主催者ではご回答・ご対応しかねますので予めご了承ください。
- Zoom 利用に関するデータ通信料については、視聴される方のご負担となりますので、あらかじめご了承ください。また Zoom 利用により生じた損害に対して主催者側では一切の責任を負いません。
- 天災やネットワーク接続不良などの止むを得ない事情により、セミナーの中止や内容を変更する場合があります。予めご了承ください。
- お申込時にご記入いただいたお客様の情報は、全て主催者に帰属いたします。  
当法人の個人情報取り扱い方針に則り、厳正に運用いたします。  
<https://edsg.org/%e5%80%8b%e4%ba%ba%e6%83%85%e5%a0%b1%e3%81%ae%e5%8f%96%e3%82%8a%e6%89%b1%e3%81%84/>
- 主催者は、有限責任監査法人トーマツに事務局を委託しています。
- セミナーご参加にあたり悪質と判断した場合は、ご退室いただく場合があります。

## ESG 情報開示研究会について

近年、資本市場において、環境・社会・ガバナンス(ESG／Environmental、Social、Governance)の観点で投資判断評価を行う ESG 投資が活発化してお

り、また、企業では ESG に関する情報開示や機関投資家をはじめとするステークホルダーとのエンゲージメントを効果的かつ効率的に行うことが課題となっています。

本研究会は、ESG 情報開示・エンゲージメントのさらなる発展に向け、情報開示のための指標の検討やステークホルダーが参画するプラットフォーム構築などをはじめとしたインフラを整備することで、企業とステークホルダーの相互理解を深め、ESG に取り組む企業のさらなる企業価値の向上に貢献することを狙いとしています。

本研究会は、ESG 情報開示を行う企業だけでなく、国内外の機関投資家や監査法人・会計事務所グループのプロフェッショナルなどさまざまなステークホルダーが参加することで、ESG 情報開示のあり方を多様な視点から検討します。

<https://edsg.org/>